

## 特定非営利活動法人 AMDA (アムダ) からのマスクの寄贈について

2020年2月25日

北京日本倶楽部

北京日本倶楽部においては、この度、特定非営利活動法人 AMDA からマスクの寄贈を受けました。

### 1. 経緯

AMDA は、「相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開」する NGO であり、同法人の菅波茂理事長から、1月末、北京日本倶楽部生活環境委員長宛て、「北京及び天津の日本人コミュニティ等のためにマスクを送りたい。その窓口になってほしい」との申入れをいただいたのが、事の始まりです (AMDA の概要及び菅波茂氏のプロフィールについては、同法人ウェブサイト <https://amda.or.jp/content/category0001.html> 参照)。

倶楽部としては、まずは同法人からの連絡と御厚意に対し、謝意を以てこれに応じることとし、手配のやり取りをして参りました。いざマスクの発送となると、日本においてもマスクの不足状態が生じ始めている中、AMDA のネパール支部からもストックを発送いただけるとのこと。

(参考) AMDA の本件に関する関係記事

[https://amda.or.jp/articlelist/?work\\_id=6636](https://amda.or.jp/articlelist/?work_id=6636)

[https://amda.or.jp/articlelist/?work\\_id=6631](https://amda.or.jp/articlelist/?work_id=6631)

こうして手配された医療用のマスクが、合計 16000 枚、昨 2 月 24 日に倶楽部事務局 (輸入手続き上は法人格を有する中国日本商会事務局) に届きました。

### 2. マスクの配布先

北京日本倶楽部としては、寄贈主の AMDA の意向を踏まえ、まず、以下のように対応したいと存じます。それぞれの寄贈先との調整を踏まえて数量を調整し、責任を持って配布させていただきます。会員始め関係者の皆様には、ご理解賜わりますよう宜しくお願いします。

◇日本人も利用する当地医療機関 (発熱外来が設置されている病院等) への寄贈

- ・中日友好医院
- ・北京ユナイテッドファミリー病院 等

◇北京日本人学校 (学校再開準備に当たる教員及び職員の利用並びに再開後の児童生徒向け備蓄用)

◇北京市内において、当面のマスクを必要としている北京日本倶楽部会員及び家族からの応募者（一人あたり 25 枚程度。余剰分は他の医療機関等へ）

◇天津日本人会（天津における活用を委託）

### 3. 北京日本倶楽部会員への募集

マスクが届いた時点で、メーリングリストにて以下の要領にて募集。

・現在、マスクが手に入らず困っている日本倶楽部会員にも配布する。一人あたり 25 枚を想定。原則として、日本倶楽部事務局（長富宮弁公楼 1 F）まで月～土の営業時間中に取りに来られる方に限る。特殊な事情のある方は、要応談。

・数に限りがあるため、万一多数からの応募があった場合には、枚数の削減など調整をさせていただきます。

・応募の締め切りは、本日メルマガにて発信の上、明後日（2月27日）14時を予定。メールにて、家族の人数記載の上、事務局（[jab@postbj.net](mailto:jab@postbj.net)）まで登録いただく。

以上

2020年2月25日

北京日本倶楽部会長 三宅英夫

同生活環境委員長 重村新吾

同副事務局長（中国日本商会事務局長） 渡辺泰一

同企画委員長（新型コロナウイルス対策チーム座長） 岩永正嗣